



2026年 7月27日
第9号

JR東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 梶田 優一
編集 情宣 担当
ホームページ



<http://www.jreu-yokohama1.jp/>

たたかいの報告～横浜地本から～



7月13日に行われた武蔵小金井駅暴行事件の裁判報告集会において、昨年4月の第一回公判から横浜のたたかいを牽引してきた企画組織部長よりこれまでのたたかいの報告が行われました。

【原告 A さんについて】

- ・A さんは表面上明るく振る舞っているが、内心では緊張や葛藤を抱えている。
- ・JR の制服を見るたびに「なぜ自分は出向させられて違う制服なのか」という悔しさを感じている。
- ・裁判初回の口頭弁論では、A さんから「大企業と闘う決意」と「不安を抱える若者の姿」を感じた。一方、裁判傍聴席からは母親の支える思いも伝わってきた。

【所属分会でのたたかいについて】

- ・自分のたたかい、自分ごとにするという意思の一致に苦労。
- ・「自分がやられたら？」「自分の職場で起きたら？」など議論を繰り返し、意思統一を図ってきた。

【ビラ配布行動について】

- ・場所選定や道路使用許可取得を地本主導から支部主導へ。事務作業もたたかいとして会社への怒りで取り組んできた。
- ・ビラ配りではできる限り参加した組合員がマイクを持って事件の真実や経営体質への怒りを自らの言葉で訴えている。

【たたかいの課題】

- ・裁判経過の情報の出し方に課題があったと捉え返し、知らない組合員を作らないために裁判経過をまとめ職場討議資料を作成した。

【決意】

- ・労働者の心身を傷つける企業権力の暴走に対してチェック機能を果たしていく。
- ・事なかれ主義からの脱却。
- ・健全な会社を取り戻すたたかいを通じて、組織強化・拡大を進めていく。

【横浜地本管内での問題】

- ・現在発生している駅の管理者によるハラスメント行為。問題が顕在化した時に、集まって議論し、たたかいの方針を一致させてこられたことは教訓。
- ・まだ埋もれている事象があるのではないか。組合差別への諦めから発信されないことや掴む側の課題もある。

自分の知り合いに… 自分の職場に… 自分の身に…
同じことが起きた時、あなたはどうしますか？

**「ほかの社員に同じ思いをさせたくない」
健全な会社を目指して共にたたかおう！**